

鹿児島県立鹿児島南高等学校

令和 8 年度

鹿南高魂育成のための  
教育活動計画

商業・情報処理科

# 令和8年度 鹿南高魂育成のための教育活動計画内容一覧

## (目次)

シラバス内容		内容の掲載ページ		
		普通科	商業・情報処理科	体育科
1.教育目標等		p.1 (全学科共通)		
2.ルーブリック		p.2 (全学科共通)		
3.年間教育活動計画	1年	pp.3-4 (全学科共通)		
	2年	pp.5-6 (全学科共通)		
	3年	pp.7-8 (全学科共通)		
4.学習活動計画	国語	pp.9-18	pp.9-13	pp.9-13
	社会	pp.19-32	pp.14-16	pp.14-16
	数学	pp.33-37	pp.17-19	pp.17-19
	理科	pp.38-48	pp.20-21	pp.20-22
	体育	pp.49-53	pp.22-26	pp.23-24
	芸術	pp.54-62	pp.27-29	pp.25-27
	英語	pp.63-69	pp.30-32	pp.28-30
	家庭	p.70	pp.33-34	pp.31-32
	情報	p.71	—	pp.33
	商業 商業・情報処理科 専門	—	pp.35-64	—
	体育 体育科 専門	—	—	pp.34-50

生徒の迎える未来＝変化の激しい未来  
 (AI・ロボット・新技術の発展に伴う職業の淘汰, ライフデザインの変更, 価値観の変化)

そこで

鹿児島南高校としてのミッション: 自ら未来を切り拓く人材の育成を目指す  
 主体的に考え, 能動的に行動し, (独立自尊)  
 常にチャレンジ・進化し続け, (開拓創造)  
 他者と協働して社会貢献できる(協力奉仕)人材の育成をはかる

具体的には

**【普通科】**

多岐にわたる分野で未来をデザインし, 世界へ発信するリーダー及びチームとして協働できる人材

**【商業科・情報処理科】**

ビジネス・情報のスペシャリストとしての自覚を備え, グローバルに活躍するビジネスリーダー及びチームとして協働できる人材

**【体育科】**

日本や世界のスポーツの発展や振興, 競技力の向上のためのリーダー及びチームとして協働できる人材

学科の特性を活かした教育 “鹿児島に貢献し, そして世界へ”

必要な力

**鹿児島南で身につける力＝“鹿南高魂”の育成**

- 【学科共通】基礎力:** あいさつ・礼儀作法, 思考・実践の材料や根拠となる学力(知識), 他者との関わりで欠かせないコミュニケーション能力(聞く力も含む), 情報収集力等
- 思考力:** 想像力・未来を予測する力, 課題を発見する力, 客観的に物事を見つめる力(メタ認知), 論理的思考力(筋道を立てた考え方), 情報分析力(批判的思考力(クリティカルシンキング)), 創造する力等
- 実践力:** 情報発信力(ICTの利活用等), 課題を解決する力, 未来を切り拓くキャリア設計力, 主体的な行動力, 協働力(チームワーク)等

**【普通科】**

グローバルな視野で世界を考え, 現代社会の抱える課題を克服に導く力

**【商業科・情報処理科】**

経済社会・情報社会の将来に貢献する起業家精神と実行力

**【体育科】**

スポーツを通して地域社会や国際社会の未来に貢献する力

様々な活動を通して

育成期  
1学年

【共通】新入生がイグニス, 授業, 課外活動, 体育祭, 文化祭, クラスマッチ, ボランティア活動, 一日遠足  
 【普通科】全国統一模試, 文理選択, GTEC受験, 総合的な探究の時間  
 【商業科・情報処理科】進路マップ, 各資格検定  
 【体育科】進路マップ, 野外活動

充実期  
2学年

【共通】授業, 課外活動, 体育祭, 文化祭, クラスマッチ, ボランティア活動, 修学旅行  
 【普通科】全国統一模試, GTEC受験, 総合的な探究の時間  
 【商業科・情報処理科】進路マップ, 就業体験学習, 各資格検定及び上級資格検定  
 【体育科】進路マップ, 野外活動

発展期  
3学年

【共通】授業, 課外活動, 体育祭, 文化祭, クラスマッチ, ボランティア活動, 受験勉強  
 【普通科】全国統一模試, 総合的な探究の時間  
 【商業科・情報処理科】課題研究, 各資格検定及び上級資格検定  
 【体育科】野外活動, 課題研究

		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	目指す姿
基礎力	挨拶・礼儀(基礎人間力)	相手に挨拶されたら挨拶を返す。敬語が使える。	自分から積極的に挨拶をすることができる。敬語の使い分けができる。	校内はもちろん、校外においても自分に関わりのある地域の方や保護者の方々に積極的に声を出して挨拶ができる。	校外外において、笑顔で、誰に対しても挨拶ができ、相手の心情や状況に応じた振る舞い(会釈と語先後礼の使い分け等)ができる。	自ら未来を切り拓く人 主体的に考え、能動的に行動し、 常にチャレンジ・進化し続け、 （開拓創造） （独立自尊） 他者と協働して社会貢献できる （協力奉仕）人
	思考・実践の材料や根拠となる学力(知識)	授業の内容を教師の説明を聞いて理解する。または定期考査で50点程度取れる。	一度授業で扱ったところの学習内容を復習等見直すことで思い出せる。または定期考査で60点程度取れる。	学習内容がしっかりと定着しており、いつでもそれを引き出すことができる。または定期考査で70点程度取れる。	普段の生活の中で学習内容をいつでも応用させることができる。または定期考査で80点以上取れる。	
	コミュニケーション能力	発表を原稿を読みながら伝える。人の話を静かに聴く。	聞き手の目を見ながら伝えることができる。相手の話を聞きながら要点を整理できる。それに感想を言える。	相手の反応に応じて適切な言葉遣いで伝えることができる。相手の話の要点をまとめ、根拠のある批評や的確な質問をすることができる。	適切な言葉遣いや話術で説得力のあるプレゼンや説明ができる。他者からの質問や批判に真摯に耳を傾け、聞かれたことに的確に答えたり、批判を論議できる。	
	情報収集力	情報源を複数持っている(ほしい情報がどれを調べれば入手できるか知っている)。	観察した状況から問題点や課題を考えようとする。	状況を整理して問題点や課題を他者に伝え、他者からもさらに関連する情報を得ることができる。	整理した状況から次のステップに移る手段を提案できる。	
思考力	想像力・未来を予測する力	物事や行動について、その後の結果を考える習慣が身についている。	物事や行動の結果を過去の経験や現在の状況を踏まえて考えることができる。	未知の状況を、現在とることのできる手段に応じて考えることができる。	未知の状況を、現在とることのできる手段に応じて考え、何らかのアクションを起こすことまで考えることができる。	
	課題を発見する力	自己の生活や身近な社会について改善したほうが良いと考えていることがある。	自己の生活や身近な社会から、地域社会や世界に拡張して改善したほうが良いと考えていることがある。	改善したほうが良いと考える課題の原因にまで掘り下げてその改善策を探ることができる。	課題の原因や改善策を追求する中で生じた新たな疑問を発見できる。また、改善策を多角的に検討することができる。	
	客観的に物事を見つめる力(メタ認知)	自分の学習状況の理解と不足しているものを理解している。	自分の学習に不足しているものを理解し、それを補うための行動を起こすことができる。	学習計画を立て計画的に克服のプロセスを踏んでいる。	自分の学習計画や学習方法を結果に基づいて検証し、修正を加えながらより良いものにして努力を継続できる。	
	論理的思考力	相手の意見を聞き、自分との共通点・相違点をそれぞれ理解している。	自分との共通点・相違点がそれぞれ生じている理由や根拠を説明することができる。	共通点・相違点の根拠を検討したり、他の解釈や情報の分析をしたりして、見解が異なる理由を説明できる。	自分と異なる見解を認めたり、他の視点からの情報を論理的に分析したりしている。さらに、根拠に基づいた多角的な視点で探究している。	
	情報分析力(批判的思考力(クリティカルシンキング))	日常生活の中で『なぜ?』という問いかけをするようにしている。	感じた疑問の解決策を、自分の今現在持っている情報をもとに考えることができる。	感じた疑問の解決策を、複数の情報を批判的に吟味した上で取捨選択し、総合的に考えることができる。	感じた疑問の解決策を考える中で生じた新たな疑問に対して、同様に批判的な情報吟味によって解決策を考え提案できる。	
	創造する力	自分の考えを持っている。	新しく学んだことや他者の意見・様々なアイデアを活用しようとするることができる。	積極的に求めて得た複数の意見・アイデア・計画を統合し、独自のアイデアを考えることができる。	独創的なアイデアや計画を創造し、他者とともにそれを実現しようとする。	
実践力	情報発信力	伝えたいことを自分の中で思いついている。	伝えたいことを一方的に相手に伝えることができる。	伝えたいことを、最も効果的な伝達手段を考えて、それにしたがって伝えることができる。	相手に伝えたいことを聞きながら、さらに情報を修正整理して伝えることができる。	
	課題を解決する力	課題の存在やその内容を理解している。	課題の原因や背景を追究し、解決するプロセスを提案できる。	原因を追究し、解決する様々なプロセスを検討し、1つ以上の解決策を提案する。実行可能性についても検討することができる。	原因追究に基づいて解決策を提案し、実行可能性や解決のメリット・デメリットについて幅広く考えることができる。	
	未来を切り拓くキャリア設計力	働くことの意味を理解している(職業観の育成がなされている)。将来の進路について考えている。	自己の適性を理解しようとして、進路についての情報を集めたり等して積極的に模索している。	希望する進路に向けて、自らの進路を切り拓くための課題(学力や教科バランス等)を理解している。	将来の夢の実現のために希望する進路や自己の適性を把握し、進路実現に向けて自らの課題を克服する努力を継続している。	
	主体的な行動力	言われたことを、言われたことの意味を理解したうえで言われたとおり実行する。	言われたことをそのままではなく自分なりの改善を加えて実行できる。また、自分の経験からとるべき行動を考えることができる。	自分がとるべき行動を周囲の状況から判断して自発的にとることができる。チームやメンバーの作業の進捗状況からスケジュール・締切に応じたタイムマネジメントができる。	周囲を巻き込みながら自発的な活動を拡大していくことができる。チームやメンバーの能力や適性に応じて作業を割り振り、適宜必要な修正を加えながら完成まで導く。	
	協働力(チームワーク)	身近なメンバーに助けを求めたり、支援したりできる。	課題解決に向けて行動計画を示したり、他者の提案を受け入れたりし、メンバーに対して肯定的な話し方や表情で接することができる。	課題解決に向けて新たな提案や代替的な考えを示すことができる。メンバーのモチベーションを上げて前進を助ける。	チームで課題解決した成果や手ごたえが持てる。また、チームメンバーがその課題を卓越したレベルで完成するのを率先して支援することができる。	
普通科	グローバルな視野で世界を考え、現代社会の抱える課題を克服に導く力	基礎力レベル2程度 思考力レベル1程度 実践力レベル1程度 地域社会も含む世界に興味関心がある。	基礎力レベル3程度 思考力レベル2程度 実践力レベル2程度 世界の情報や知識を自分のできる範囲の努力で得ている。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3程度 実践力レベル2程度 世界各地が抱える具体的な課題に対して原因を知り、自分の意見を持っている。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3以上 実践力レベル3以上 世界が抱える具体的な課題に対して自分自身がどう行動すればよいか考え、行動に移している。	
	経済社会・情報社会の将来に貢献する起業家精神と実行力	基礎力レベル2程度 思考力レベル1程度 実践力レベル1程度 【観る力】相手の立場や考えを尊重し、その形成過程等を的確に捉えることができる。	基礎力レベル3程度 思考力レベル2程度 実践力レベル2程度 【書く力】過不足なく聞き取り(聞く)、話を引き出し(聴く)、根拠適否を確かめるための適切な質問(訊く)ができる。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3程度 実践力レベル2程度 【伝える力】要点をまとめ、簡潔に話し、相手に印象づけるために抑揚をつけて話ができる。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3以上 実践力レベル3以上 【感じる力】相手の心情を察知し、会話等をおし、相手をよりよく知ることができる。	
体育科	スポーツを通して地域社会や国際社会の未来に貢献する力	基礎力レベル2程度 思考力レベル1程度 実践力レベル1程度 生涯スポーツに向けて、運動やスポーツの技能を高めたり、健康的な生活習慣を身につけたりしている。	基礎力レベル3程度 思考力レベル2程度 実践力レベル2程度 健康やスポーツを社会の中で考えていける力を身につけている。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3程度 実践力レベル2程度 自らの競技力向上だけでなく、チームや他者の競技力向上にも適切な援助ができる。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3以上 実践力レベル3以上 競技者としてだけでなく指導者としてふさわしい資質を身につけている。	

学期	月	担当部署	企画名	基礎力				思考力				実践力				活動内容等 Classにアップ			
				間接力 ～礼儀 ～基礎人	基礎 ～思考・実践 ～学力 ～知	能力 ～コミュニケーション	情報 ～収集力	想像 ～力・未来を予測	課題 ～を発見する力	客観 ～的に物事を見つ める力 ～メタ認知	論理 ～的思考力	情報 ～分析力 ～批判的 ～思考力 ～クリ ～ティ ～カル	創造 ～する力	情報 ～発信力	課題 ～を解決する力		未来 ～を切り拓く ～キヤ	主体的 ～な行動力	協働 ～力 ～（チーム ～ワーク）
学年目標				育成期(基礎力養成期):鹿南高魂の土台づくりをする。															
学期目標				中学生から「鹿南生」になる。															
1 年 生 （ 育 成 期 （ 基 礎 力 養 成 期 ）	4	教務	入学式	○	○	○	○	○											
		教務	対面式	○	○	○	○	○											
		教務	全校朝礼	○	○	○	○	○											
		生指	頭髪服装指導	○	○	○				○									
		進路	課題実力調査		○		○				○	○				○		事前・事後感想記入	
		進・学	新入生ガイダンス	○	○	○	○												
		学年	新入生オリエンテーション	○	○	○	○												
		進路	進路希望調査					○			○	○				○		記入	
		保健	健康診断	○							○								
		教務	三者面談	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		感想記入
学年	一日遠足	○		○										○		○	(感想記入)		
生指	学校生活アンケート								○										
5	教務	全校朝礼	○	○	○	○	○												
	学年	学年別朝礼	○	○	○	○	○												
	学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○												
	生指	頭髪服装指導	○	○	○	○	○												
	生指	情報モラル講座		○	○	○	○										(感想)		
	生指	交通安全教室	○	○	○	○	○										(感想)		
	生指	生徒総会	○	○	○	○	○								○		感想記入		
	教務	授業実習	○	○	○	○	○												
	生指	教育相談	○	○	○	○	○								○	○	○	感想記入	
	体育	体育科野外活動	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入	
6	教務	全校朝礼	○	○	○	○	○												
	学年	学年別朝礼	○	○	○	○	○												
	学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○												
	生指	頭髪服装指導	○	○	○	○	○												
	進路	感情1年生進路ガイダンス		○	○	○	○	○	○	○				○			ワークショップ・感想記入		
	生指	雑物乱用防止教室	○	○	○	○	○	○	○								感想記入		
	生指	学校生活アンケート								○									
	生指	生徒会役員改選			○	○	○	○											
	商情	全高ビジネス計算実務検定		○		○									○			(事前事後感想記入)	
	進路	第1回学習時間調査					○	○	○	○	○				○			事前事後感想記入	
教務	期末考査	○	○	○	○	○	○	○	○					○			事前事後感想記入		
家庭	家庭クラブボランティア	○	○	○	○	○	○						○				感想記入		
学級	体育祭選手選定					○	○	○	○	○				○	○	○	経過の記録		
学級	文化祭関係話し合い					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	経過の記録		
保健	防火防災訓練	○	○	○	○	○								○					
7・8	進路	1年生進路講演会	○	○	○	○	○	○							○			ワークショップ・感想記入	
	教務	全校朝礼	○	○	○	○	○												
	学年	学年別朝礼	○	○	○	○	○												
	学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○												
	生指	頭髪服装指導	○	○	○	○	○												
	進路	対外模試(普通科)		○		○			○	○					○			事前・事後感想記入	
	商情	全高ビジネス文書実務検定		○		○									○			(事前・事後感想記入)	
	教務	井筒大会	○	○	○	○	○	○	○						○			感想記入	
	生指	クラスマッチ	○	○	○	○	○								○	○		感想記入	
	進路	1学期の反省と2学期への決意		○		○			○	○					○			感想記入	
教務	大掃除・終業式	○	○	○	○	○													
進路	夏季課外	○	○	○	○	○								○					
学級・学年	体育祭準備	○	○	○	○	○	○	○						○	○	○	経過の記録		
学級・学年	文化祭準備			○	○	○	○							○	○	○	経過の記録		
教務	中学生一日体験入学	○	○	○	○	○	○	○						○					
進路	職業インタビュー	○	○	○	○	○											記録		
進路	文理研究(普通科)	○	○	○	○												記録		
進路	オープンキャンパス	○	○	○	○	○	○	○	○								事前・事後感想記入		
生指	教育相談	○	○	○	○	○								○	○	○	感想記入		











使用教科書	『現代の国語』 (東京書籍)	副教材等	『書いて覚えて実践する 高校生の語彙と漢字』(桐原書店)・国語辞典
学習の到達目標	知識・技能	国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深め、古典を読むために必要なきまりを理解する。	
	思考・判断・表現	論理的に考える力を身に付け、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	
	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

学期	月	単元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容・評価規準	
			力検抄・礼儀(基礎人間)	と思考・実践の材料や提供	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を下構する	力客観的・物的に物事を捉える	力論理的思考力	力情報分析力(批判的・シグナル)	力創造する力	情報発信力	課題を解決する力	設案を切り拓くキャリア		主体的な行動力
一年(基礎力養成期)	4	〈読解編〉 「木を見る、森を見る」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 評論を読むために必要な語彙を身に付け、話や文章の中で使えるようになる。 [思判表] 表現や構成に注意して読み、筆者の主張を読み取ることができるようになる。
	5	〈探究編〉 「本を紹介する」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 図書館の利用法を理解し、活用できるようになる。 [主] 本を紹介するために、説明の仕方を考えて話すようにする。 [知技] 二項対立の表現に注意して読み、内容を整理できるようにする。 [思判表] 筆者のものの見方や考え方を読み取り、日本文化の特徴について理解を深める。
	6 7	〈読解編〉 言葉は「ものの名前」ではない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 具体的な例示と筆者の意見に注意して読むことができるようになる。 [思判表] 筆者独自の表現に注意して読み、コミュニケーションのあり方について考えを深める。
一年(基礎力養成期)	9	〈読解編〉 「時間と自由の関係について」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 文章の構成や展開に注意して読むことができるようになる。 [思判表] 時間と自由の関係について筆者の主張を的確に読み取り、自分に引き寄せて考えを深める。
	10	〈読解編〉 「真の自立とは」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 評論を読むために必要な語彙の獲得に努め、事例と意見を整理して読解できるようにする。 [思判表] 自立のあり方についての考察を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。
	11	〈探究編〉 「1 課題の設定」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 思考や発想を広げるための方法を知り、実践できるようにする。 [主] 設定した課題について考えを整理し、意見をまとめられるようにする。
	12	〈読解編〉 「人工知能はなぜ椅子に座れないのか」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 筆者の提示する問題を読み取って、整理できるようにする。 [思判表] 構成や展開に注意して読み、人工知能と人間の違いについて考えを深める。 [主] 評論文を積極的に読み、現代社会の問題を捉えて自分の考えをまとめられるようにする。
一年(思考力養成期)	1	〈読解編〉 「戦と退屈の倫理学」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 引用や主張に注意して内容を読み取り、近代から現代への変化と、そこで生きる人の姿を見つめる。 [思判表] 暇を得た社会の中で個人はどう生きればよいかについて読み取る。 [主] 筆者の主張をふまえ、自分の考えをまとめられるようにする。
	2	〈探究編〉 「3 整理・分析」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 異なる主張の文章を読み比べ、違いを整理し他者に説明できるようにする。
	3															

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	・知識や技能の習得を問う小テスト ・単元テスト、定期考査、課題実力考査
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・単元テスト、定期考査、課題実力考査
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。	・ノートの記入状況 ・課題の取り組み状況 ・話し合い活動や発表の状況



使用教科書	数研出版『高等学校言語文化』	副教材等	桐原書店『高校生の語彙と漢字』,古語辞典
学習の到達目標	知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに,我が国の言語文化に対する理解を深める。	
	思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし,他者との関わりの中で伝え合う力を高め,自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	
	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め,読書に親しみ自己を向上させ,我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち,言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

学年	学期	月	単元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容・評価基準					
				力活用・礼儀へ基礎人間	思考・表現の材料や根拠	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・本質を予測する	力客観的に物事を見つめる	力客観的に物事を見つめる	力客観的に物事を見つめる	力客観的に物事を見つめる	力客観的に物事を見つめる	力客観的に物事を見つめる	力客観的に物事を見つめる		力客観的に物事を見つめる				
二年(基礎力養成期)	一学期	4	竹取物語 「なよ竹のかぐや姫」  枕草子 「ありがたきもの」  小説 「沖繩の手記から」	○	○														[知技]・古典を読むために必要なきまりや古典特有の表現などについて理解できるようになる。 [思判表]・古語と現代語の言葉とのつながりについて理解できるようになる。  [知技]・古典の世界に親しみ,作品や文章の歴史的,文化的背景などを理解できるようになる。 [思判表]・作者のものの見方,感じ方,考え方を読み取ることができるようになる。  [知技]・小説の鑑賞方法を習得する。 [思判表]・登場人物の心理,行動を的確に読み取ることができるようになる。		
		9		詩文 「雑説」  軍記物語 「平家物語」  小説 「山月記」(中島敦)	○	○															[知技]・比較的长度,平易な文章に慣れ,訓読のきまりについて確認する。 [思判表]・「読むこと」において,作品や文章に表れているものの見方,感じ方,考え方を捉え,内容を解釈できるようになる。  [思判表]・登場人物の心理を読み取る。 [知技]・口語訳の力を身に付ける。 [主]・作り物語に表れた多様な思いを的確に捉えようとしている。  [知技]・文章の意味は,文脈の中で形成されることを理解している。 [思判表]・内容や構成,展開などについて叙述を踏まえ,内容の解釈を深めている。 [主]・人間が虎になるといふ設定の効果について粘り強く考察し,これまでの学習を生かして考えようとしている。
		10																			
11																					
二年(応用力養成期)	三学期	1	日記 「土佐日記」  史話 「菅簾之交」  俳諧 「おくのほそ道」, 思想 「論語」	○	○													[知技]・古典の世界に親しみ,作品や文章の歴史的,文化的背景などを理解できるようになる。 [思判表]・作者のものの見方,感じ方,考え方を読み取ることができるようになる。  [知技]・比較的长度,平易な文章に慣れ,訓読のきまりについて確認する。 [思判表]・「読むこと」において,作品や文章に表れているものの見方,感じ方,考え方を捉え,内容を解釈できるようになる。 [主]・史話のおもしろさを味わおうとしている。  [知技]・古典の世界に親しみ,作品や文章の歴史的,文化的背景などを理解できるようになる。 [思判表]・作者のものの見方,感じ方,考え方を読み取ることができるようになる。			
		2																			
		3																			

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに,我が国の言語文化に対する理解を深めている。	・知識や技能の習得を問う小テスト ・定期調査や課題実力調査
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし,他者との関わりの中で伝え合う力を高め,自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・定期調査や課題実力調査
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め,読書に親しみ自己を向上させ,我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち,言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業,話し合い活動,発表での態度



使用教科書	三省堂『新論理国語』	副教材等	桐原書店『高校生の語彙と漢字』, 国語辞典
学習の到達目標	知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに, 我が国の言語文化に対する理解を深める。	
	思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし, 他者との関わりの中で伝え合う力を高め, 自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	
	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め, 読書に親しみ自己を向上させ, 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち, 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

学年	学期	月	単元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容・評価規準			
				力強げ・礼儀(基礎人間)	思考・実方改(知識)や根拠	コミュニケーション能力	情報収集力	想像力・言葉を手探りする	課題を見出す力	力客観的に物事を見つめる	論理的思考力	力(傾分析力)イカ批判的シキキ	シ(ヘ)クリ	創造する力	課題発見力		課題を解決する力	読解力	主体的な行動力
二年(基礎力養成期)	一学期	4	「人類による環境への影響」 「言語ゲームと哲学的感性」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技]・文章の構成や展開の仕方について理解できるようになる。 [思判表]・具体と抽象の関係を理解し, 筆者の論の進め方の意図を整理することができるようになる。 [主]・言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。  [知技]・資料との関係を把握し, 内容や構成を的確に捉えることができるようになる。 [思判表]・多様な論点を結びつけ, 筆者の説明方法の特徴を理解できるようになる。 [主]・言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。  [知技]・学術的な学習に必要な語句を使うことを通じて, 語感を磨き語彙を豊かにする。 [思判表]・取り上げられた事例の長さ, 順序について批評し, 筆者の主張について深く解釈できるようになる。
		6	「この十年をどう生きるか」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		7	「〈自動車〉と〈映像〉の二十世紀」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
二年(思考力養成期)	二学期	9	「日本マンガのブルーオーシャン戦略」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技]・関連する文書や資料を基に, 必要な情報を関係付けて整理することができるようになる。 [思判表]・読者を想定した事例の効果を検証し, 筆者の立場や目的, 意図を読み取ることができるようになる。  [知技]・様々な事例を取り上げながら, その具体例を手がかりに論理的に考える方法を習得する。 [思判表]・事例どうしを関連付けることで必要な情報を整理し, 筆者の論の進め方を読み取ることができるようになる。 [主]・言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。  [知技]・文章の種類を踏まえて, 論点を明確にしながら要旨を把握することができるようになる。 [思判表]・文章の構成や展開, 筆者の主張に着目し, 新たな観点から自分の考えを深めることができるようになる。 [主]・言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
		10	「学びとは何か」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		11 12	「『知る』ということ」 「文系と理系の壁はあるか」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
二年(応用力養成期)	三学期	1	「科学には限界があるか」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技]・論証するために必要な語句を文章の中で使うことを通じて, 語感を磨き語彙を豊かにする。 [思判表]・筆者の主張に補足することで納得できる論証を構築し, 自分の考えを広げたり深めたりすることができるようになる。 [主]・言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
		2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		3		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに, 我が国の言語文化に対する理解を深めている。	・知識や技能の習得を問う小テスト ・定期考査, 単元テスト, 課題実力考査
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし, 他者との関わりの中で伝え合う力を高め, 自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・定期考査, 単元テスト, 課題実力考査
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め, 読書に親しみ自己を向上させ, 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち, 言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業, 話し合い活動, 発表での態度

使用教科書	地理総合 世界に学び地域へつなぐ(二宮書店) 新詳 高等地図(希国書院)	副教材等	地理総合ワークブック(二宮書店)
学習の到達目標	知識・技能	生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付ける。	
	思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色等を、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	
	主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。	

学期	月	単元名	基礎力				思考力						実践力				活動内容・評価規準	
			力探訪・礼儀(基礎人間)	英語と文化・異文化理解の力(国際理解)	コミュニケーション力	情報収集力	想像力・未来を予測する力	課題を見出す力	客観的に物事を見つめる力	論理的思考力	資料分析力(批判的・創造的)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	発表を切り拓く力	主体的な行動力		協働力(チームワーク)
一学期	4	地図とGISの活用 1 球面状の世界 2 地図とGIS 3 国家の領域と国際関係 4 人・モノ・情報のつながり	○	○	○	○												【知技】地球上での位置の示し方を理解し、日常生活における時差計算の技能を身に付ける。 【知技】世界地図の様々な図法の特徴を捉え、グローバルな立場から日本の領域を理解する。 【知技】地図やGISを活用する技能を身に付ける。 【思判表】統計地図やグラフを読み取る技能を身に付け、資料を根拠に課題解決の方策を考える。 【主】地図や地理情報システムと現代世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	6 7	地理的環境の特色 1 地形と生活文化 2 気候と生活文化 3 産業と生活文化 4 宗教・言語と生活文化	○	○	○													【知技】世界的視野から地形環境や気候環境の全体像を捉え、地図や各種資料から地域ごとの特色について理解する。 【思判表】世界の生活文化が各地域の環境に基づいて発達する産業を基盤に成り立つ現状を考え、その多様性を宗教や言語などの分布を示した主題図などの資料から理解し、背景を考察する。
二学期	9 10	世界各地の生活文化 1 東アジア 2 東南アジア 3 南アジア	○	○	○													【知技】社会経済システムの変化に焦点を当て、中国や韓国を例にその特徴を捉える。 【知技】多民族社会と地域統合に焦点を当て、多様な文化をもつ東南アジアについて理解する。 【思判表】南アジアの水資源に焦点を当て、水資源と宗教、農業、文化や産業の関わりを各種資料をもとに考察する。
	4 5 6 7	イスラーム圏 アフリカ EUと周辺諸国 ロシアと周辺諸国	○	○	○													【知技】イスラームに焦点を当て、気候条件や宗派、資源などの視点から考察を深める。 【知技】自然環境や生活文化の多様性に焦点を当て、アフリカの課題について考える。 【思判表】産業の発達と地域統合に焦点を当て、ヨーロッパを例に多様性と一体化をもつ産業の特徴や背景を主題図やグラフをもとに捉える。
	8 9 10	アングロアメリカ ラテンアメリカ オセアニア	○	○	○													【知技】社会経済システムのグローバル化に焦点を当て、アメリカやカナダを例に多民族社会とその歴史的背景について理解する。 【思判表】開発に焦点を当て、殖民の歴史とそこに展開する産業を主題図や各種資料から捉える。 【主】生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
三学期	1	地球的環境と国際協力 1 地球環境問題 2 資源・エネルギー問題	○	○	○													【知技】地球環境問題がグローバルな問題であると同時に、自らの問題でもあることをSDGsを踏まえて認識する。 【主】各種資源について、分布の偏在やそれにとり異なる格差、資源の枯渇などの問題とその解決に向けた取り組みをSDGsに関連づけて捉える。
	3 4 5	人口問題 食料問題 居住・都市問題	○	○	○													【思判表】人口が急増する世界の現状を捉え、人口ピラミッドや相関図などの資料から人口問題の構造と地域差を捉え、その背景や問題点を整理する。 【主】都市に人口が集中する現状とそれにとり異なる問題を捉え、都市計画とSDGsと関連づけながら解決策を考える。
	3	生活圏の諸課題 1 日本の自然環境と防災 2 生活圏の諸課題と地域調査	○	○	○													【知技】日本列島の自然環境の特徴を理解し、自然災害の事例についてハザードマップや気象情報などを活用する技能とともに捉える。 【主】日本が抱える地域的な課題について、身近な事例を取り上げ、少子高齢化や過疎化について調査の技能を身に付ける。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	現代世界の地理的事象についての基本的知識を身に付け、相互の関連について理解し、地図の地図や資料の読み取りなどの地理的技術を身に付けている。	
思考・判断・表現	現代世界の地理的事象について、地域性や歴史的背景を踏まえ、地理的見方・考え方から考察し、地理情報を活用して表現している。	・小テスト、単元テスト、定期考査など ・話し合い活動や発表 ・作業学習への取り組みと成果
主体的に学習に取り組む態度	周囲と協働して積極的に地理的問題について考察を深め、地理を学ぶことを自己の成長につなげている。	



使用教科書	歴史総合 (実教出版)	副教材等	
学習の到達目標	知識・技能	近現代の歴史の形成について理解し、資料を適切に活用する技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	近現代の歴史を多面的・多角的に考察し、それを説明したり、議論したりする力を身に付ける。	
	主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の理解をとおして、我が国および他の国の文化を尊重することの大切さを身に付ける。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力				実践力				活動内容・評価規準		
			力発揮・礼儀(一貫性人間)	思考・実行力(課題への対応)	コミュニケーション能力	情報収集力	力発揮・実行力(課題を予測する)	課題を発見する力	力発揮・実行力(課題を見つめる)	論理的思考力	シグナル力(批判的思考)	創造する力	情報発信力		課題を解決する力	主体的な行動力
一学期	4	歴史の源 ① 歴史と私たち ② 歴史の特質と資料 第1章 近代化と私たち 近代化への問い 第1章 結びつく世界	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識】身の回りの事象と世界の歴史がつながっていることを理解する。 【理解】近代化に関する歴史の資料を分析し、そこから読み出した情報を適切に読み取り活用する技能を身に付ける。 【加技】15～18世紀のアジア各地域や欧米諸国との貿易が、日本への影響について理解する。 【思考力】「大航海時代」から「世界的一体化」に至る交易の意義と地域の変容について考察し、自分の言葉で表現する。 【主】諸資料から近代化について理解し、見通しをもって学習に取り組む。
	5	第2章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識】市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と身分制階級制の成立を理解する。 【理解】市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現在社会との関わりを考察し、自分の言葉で表現する。 【主】市民革命や産業革命がもたらした課題について、解決策を追究しようとする。
	6	第3章 明治維新と日本の立憲体制	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識】明治維新後の日本の変化やアジア諸国の変容について理解する。 【理解】明治維新の歴史的意義や立憲体制の確立について、現代の日本への影響を関連付けて考察し、自分の言葉で表現する。 【主】明治維新や日本の立憲体制の確立、アジア諸国の変容が、現代社会にどのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策を追究する。
	7	第4章 帝国主義の展開とアジア近代化と現代の諸課題	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識】日露・日清戦争が国内や列強国に与えた影響や帝国主義による民族差別を理解する。 【理解】日露・日清戦争が国内や列強国に与えた影響や帝国主義の形成・発展による海外展開、帝国主義が人権に与えた変化について考察し、自分の言葉で表現する。 【主】列強国や帝国主義が現代社会に与えた影響について、追究する。 【主】近代化について、よりよい社会の実現を視野に現代につながる課題を見出そうとする。
二学期	9	第5章 国際関係の近代化と大衆化と私たち 国際秩序の変化や大衆化への問い 第5章 第一次世界大戦と大衆社会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識】国際関係の近代化を軸に、第一次世界大戦の経緯と、その後の影響や社会の変化について理解する。 【理解】第一次世界大戦の後の国際関係が社会に与えた影響、その後の新しい国際秩序と大衆社会の発展について考察し、自分の言葉で表現する。 【主】勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加、ヴェルサイユ条約に基づく国際秩序の確立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現在の社会につながるような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究しようとする。
	10	第6章 経済危機と第二次世界大戦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識】大衆社会から第二次世界大戦の経緯に至るまでの経緯について、大衆とファシズムの関わりを追究しながら理解する。 【理解】ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、ドイツや日本で大衆がどのような役割を果たしていたのかを考察し、自分の言葉で表現する。 【主】大衆の戦争への参加という問題を現代社会における課題と見做し、その解決策を追究しようとする。
	11	第7章 戦後の国際秩序と日本の変革 国際秩序の変化や大衆化と現代の諸課題	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識】冷戦および冷戦構造の形成と、盟国を中心とする平和への新たな国際秩序について、日本と関連付けながら理解する。 【理解】第二次世界大戦終結と戦後の国際関係を比較することで、戦争の経緯が人々に何をもたらしたのかを考察し、自分の言葉で表現する。 【主】大戦後に形成された平和維持体制における課題が、現代社会にどのような影響を与えているのかについて考察し、解決策を追究しようとする。 【主】現代の国際関係に照らして冷戦構造の形成や大衆化の歴史を再考し、よりよい社会の実現を視野に現代につながる課題を見出そうとする。
	12	第8章 グローバル化と私たち グローバル化への問い 第8章 冷戦と世界経済	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識】諸資料からグローバル化について理解し、多様な文化が共存する社会の発展について、見通しをもって学習に取り組む。 【理解】冷戦下の緊張と緩和の経緯と、その中で「第三世界」の形成や日本の高度経済成長など冷戦における多様な変化について、理解する。 【思考力】冷戦下の世界と日本の傾向について、政治・経済の発展や福祉の向上の経緯を通して多面的に考察し、見通しをもって表現する。 【主】冷戦下における各国の政治的・経済的動向が、現代社会にどのような課題を生み出したのかを考察し、解決策について追究しようとする。
三学期	1	第9章 グローバル化と私たち グローバル化への問い 第9章 冷戦と世界経済	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識】冷戦構造の崩壊とグローバル化の経緯について理解する。 【理解】グローバル化の進展や地域経済、ナショナルイズムの復活について多面的に考察し、その背景や課題を自分の言葉で表現する。 【主】冷戦の終結とグローバル化の進展がどのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究しようとする。
	2	第9章 グローバル化する世界	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識】グローバル化に伴う多文化や反グローバル化運動への対応、多様性の容認などをみずから課題として理解する。 【理解】グローバル化が進むなかでの日本の役割について、求められる役割を再考し、表現する。 【加技】身近な課題を考察するうえで歴史の発見や考え方を活用することが、現在の課題解決や私たちの将来を構想するうえで大切であることを理解する。 【主】みずから問いを立てて、分析の方法や視点を設定し、その答えを追究しようとする。 【主】分析や考察の結果を得意と異なりしたり、比較したりして、自分の考えをより良いものに改善しようとする。
	3	第10章 現代の課題 現代的な運動の形成と展望	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識】グローバル化に伴う多文化や反グローバル化運動への対応、多様性の容認などをみずから課題として理解する。 【理解】グローバル化が進むなかでの日本の役割について、求められる役割を再考し、表現する。 【加技】身近な課題を考察するうえで歴史の発見や考え方を活用することが、現在の課題解決や私たちの将来を構想するうえで大切であることを理解する。 【主】みずから問いを立てて、分析の方法や視点を設定し、その答えを追究しようとする。 【主】分析や考察の結果を得意と異なりしたり、比較したりして、自分の考えをより良いものに改善しようとする。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代の諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。諸資料から情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けている。	・授業への取り組み ・提出課題、レポート ・定期調査等、小テスト ・ディスカッション ・グループワーク
思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、発表したりする力を身に付けている。	ほか
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を協働して主体的に追究、解決しようとしている。	ほか







使用教科書	高等学校 改訂科学と人間生活 (第一学習社)	副教材等	ネオパルノート科学と人間生活 (第一学習社)
学習の到達目標	知識・技能	科学技術の発展の人間生活への貢献、身近な事象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性について理解する。	
	思考・判断・表現	身近な事象・現象の中に問題を見出し、観察、実験、調査などを行って得た結果について、科学的に思考し、判断する。	
	主体的に学習に取り組む態度	身近な事象・現象に関心や探究心をもち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力			活動内容・評価規準		
			力発揮・丸覚え・整理・人間	コミュニケーション能力	情報取集力	力発揮・丸覚え・整理・人間	課題を見出す力	課題を解決する力	課題を解決する力	課題を解決する力	課題を解決する力	課題を解決する力	課題を解決する力		課題を解決する力	
一学期	4	第1章 物質の科学 第1節 材料とその利用 ①プラスチックの特徴 ②プラスチックの分類と用途(1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・わたしたちの身のまわりにあるプラスチックの特徴と、プラスチックの原料と製造過程について理解する。 ・プラスチックやその原料となる物質は、おしに由来した石油からなる有機物であることの知識を身に付けている。
	5	③プラスチックの分類と用途(2) ④さまざまなプラスチック ⑤金属と人間生活 ⑥金属とその製錬(1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・高純度鉄、高純度銅、高純度アルミニウム、高純度シリコンなどの高純度金属の性質や用途について理解している。 【思・判・表】 ・プラスチックの性質と用途について、高純度・高純度を考慮して科学的に思考できる。 ・鉄に対する性質を考慮することによって、プラスチックを熱可塑性樹脂と熱硬化性樹脂に分類することができる。
	6 7	⑦金属とその製錬(2) ⑧金属のさびと合金 ⑨資源の再利用(1) ⑩資源の再利用(2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・鉄、アルミニウム、銅について、その性質や製錬方法、利用法などを、実験・観察を通して科学的に理解している。 ・資源の再利用方法に関心をもち、特にプラスチックがどのように再利用されているかを理解している。 【思・判・表】 ・金属と合金の再利用方法を、再利用の必要性について科学的に思考する態度を身に付けている。 【主体的態度】 ・資源の再利用について、社会的課題として意識し、生活を改善する態度を身に付けている。
二学期	9	第2章 生命の科学 第1節 ヒトの生命現象 ①タンパク質のはたらきと構造 ②遺伝子とDNA ③タンパク質の合成 ④血糖濃度の調節	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・タンパク質の構造やはたらきについて、理解している。 ・遺伝子によって決められているヒトの形質に興味をもち、DNAの構造や複製、遺伝子の重要性について理解している。 ・DNAの複製とタンパク質の合成の仕組みを説明できる。 【思・判・表】 ・タンパク質の構造やはたらきについて、タンパク質の構造やはたらきを科学的に説明できる。 【主体的態度】 ・タンパク質の構造やはたらきについて、科学的に理解し、タンパク質の構造やはたらきについて興味をもち、タンパク質の構造やはたらきについて科学的に説明できる。
	10	⑤血糖濃度と糖尿病 ⑥病原体の排除(1) ⑦病原体の排除(2) ⑧ヒトの視覚(1) ⑨ヒトの視覚(2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・身近な現象である糖尿病について関心をもち、糖尿病の原因、治療法、予防法などを理解している。 ・病原体の排除の仕組みについて理解している。 ・視覚の仕組みについて理解している。 【思・判・表】 ・視覚の仕組みについて、科学的に説明できる。 【主体的態度】 ・視覚の仕組みについて、科学的に理解し、視覚の仕組みについて興味をもち、視覚の仕組みについて科学的に説明できる。
	11 12	第3章 熱や光の科学 第1節 熱の性質とその利用 ①温度と熱運動 ②熱容量と比熱(1) ③熱容量と比熱(2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・身のまわりのさまざまな熱に関心をもち、熱の性質や利用法について理解している。 ・温度と熱運動の仕組みについて理解している。 ・熱容量と比熱の仕組みについて理解している。 【思・判・表】 ・熱の性質や利用法について、科学的に説明できる。 【主体的態度】 ・熱の性質や利用法について、科学的に理解し、熱の性質や利用法について興味をもち、熱の性質や利用法について科学的に説明できる。
三学期	1	④熱の伝わり方 ⑤仕事や電流と熱の発生 ⑥エネルギーの移り変わり ⑦エネルギー資源の有効活用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・身近にみられる光の伝わり方、仕事や電流と熱の発生、エネルギーの移り変わり、エネルギー資源の有効活用について理解している。 【思・判・表】 ・光の伝わり方、仕事や電流と熱の発生、エネルギーの移り変わり、エネルギー資源の有効活用について、科学的に説明できる。 【主体的態度】 ・光の伝わり方、仕事や電流と熱の発生、エネルギーの移り変わり、エネルギー資源の有効活用について、科学的に理解し、光の伝わり方、仕事や電流と熱の発生、エネルギーの移り変わり、エネルギー資源の有効活用について科学的に説明できる。
	2	第4章 地球や宇宙の科学 第1節 自然景観と自然災害 ①日本列島のなりたち ②火山活動と地殻の変化 ③火山災害と防災 ④地震活動と地殻の変化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・身のまわりのさまざまな自然現象に関心をもち、日本列島の形成とその原因、日本列島のプレート移動について科学的に理解している。 ・火山の構造に関心をもち、地殻の発生のおこる原因、日本列島の地殻活動とプレートとの関係性について、科学的に理解している。 【思・判・表】 ・日本列島の火山に興味をもち、火山の噴火によって噴き出す噴出物、火山の噴火がおこる原因、火山の形とマグマの流動性、および日本の火山活動について、科学的に説明できる。 【主体的態度】 ・火山の噴火や防災について、科学的に理解し、火山の噴火や防災について、科学的に理解し、火山の噴火や防災について科学的に説明できる。
	3	⑤地震災害と防災 ⑥水のはたらきと地殻の変化(1) ⑦水のはたらきと地殻の変化(2) ⑧気象災害と防災	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・地震災害と防災について、科学的に理解する態度を示し、地震が直接及ぼす被害や地震による二次災害、地震の予知と防災について、科学的に理解している。 【思・判・表】 ・気象災害と防災について関心をもち、台風、台風、豪雨、土砂災害など、日本列島で見られる気象災害の特徴とそれがおこるしくみについて、科学的に理解している。また、土砂災害の防災について、科学的に説明できる。 【主体的態度】 ・身近にある河川や湖沼、海に関心をもち、河川のはたらきや水のはたらきによって形成された地形について、科学的にその形成のしくみを説明できる。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	科学技術の発展の人間生活への貢献、身近な事象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身に付け、これからの科学技術と人間生活のあり方について理解している。また、身近な事象・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業、実験中での姿勢</li> <li>実験レポート</li> <li>定期考査、単元テスト</li> <li>提出課題、小テスト</li> </ul>
思考・判断・表現	身近な事象・現象の中に問題を見出し、観察、実験、調査などを行って得た結果について、科学的に思考し、判断している。そこから導き出した自らの考えを的確に表現している。	
主体的に学習に取り組む態度	身近な事象・現象に関心や探究心をもち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身に付けている。	

使用教科書	改訂 新編生物基礎 (東京書籍)	副教材等	ニューサポート 改訂 新編生物基礎 (東京書籍)
学習の到達目標	知識・技能	生物学の基礎となる代謝、遺伝子、恒常性、免疫、生態系の内容を理解する。	
	思考・判断・表現	生命に対する畏敬の念を育み、生命を尊重する考えを養う。	
	主体的に学習に取り組む態度	問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力					活動内容・評価規準	
			力検査・礼儀(基礎力)	上となる学習(基礎力)	コミュニケーション能力	情報処理能力	力検査・礼儀(基礎力)	課題を見出す力	方策へ観念的に取り組む力	論理的思考力	シミュレーション力(批判的・創造的思考)	創造する力	情報活用能力	課題を解決する力	設定能力(批判的・創造的思考)		主体的な行動力
一学期	4	【1編 生物の特徴】 1章 生物の多様性と共通性		○			○	○	○	○							【知識・技能】 ・多様な生物の共通点がわかる。 【思考・判断・表現】 ・生物の共通点と相違点を考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・多様な生物に関心を持ち、形態や生活の多様性を知らうとする意欲をもっている。
	5	2章 生物とエネルギー					○	○	○	○							【知識・技能】 ・葉緑体とミトコンドリアを理解する。 【思考・判断・表現】 ・代謝におけるエネルギーを考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・生命活動に必要なエネルギーと代謝について調べようとする。
	7	【2編 遺伝子とその働き】 1章 遺伝情報とDNA		○			○	○	○	○							【知識・技能】 ・DNAの二重らせん構造と塩基について理解できる。 【思考・判断・表現】 ・細胞周期と染色体の関係を考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・DNAの特徴に関心を持ち考えようとする。
二学期	9	2章 遺伝情報とタンパク質の合成		○			○	○	○	○							【知識・技能】 ・転写と翻訳の過程を理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・塩基配列が、アミノ酸配列に翻訳されると考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・遺伝情報をゲノムとしてとらえることに関心をもつ。
	10																
	11	【3編 ヒトの体の調節】 1章 ヒトの体を調節するしくみ		○			○	○	○	○							【知識・技能】 ・体液の成分や働き、循環系を理解する。 【思考・判断・表現】 ・動物の恒常性が自律神経により調節されていると考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・多様なホルモンが特定の内分泌腺から分泌されていることに関心をもつ。
三学期	12	2章 免疫のはたらき		○			○	○	○	○							【知識・技能】 ・生体防御には異物に対する防御と自然免疫、獲得免疫があることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・体液性免疫と細胞性免疫を説明できる。 【主体的に取り組む態度】 ・免疫のしくみに関心をもつ。
	1	【4編 生物の多様性と生態系】 1章 植生と遷移 2章 生態系と生物の多様性		○			○	○	○	○							【知識・技能】 ・気候と降水量のデータから各地のバイオームを予想できる。 【思考・判断・表現】 ・バイオームが成立する際の環境要因について考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・世界のバイオームの特色に関心をもつ。
	2																
	3																

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	生物用語とその内容を理解できる。観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事象・現象を科学的に探究する技術を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への取組</li> <li>実験レポート</li> <li>授業中の小テスト</li> <li>提出課題</li> <li>単元テストや期末考査等</li> </ul>
思考・判断・表現	自然の事象・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	
主体的に学習に取り組む態度	自然の事象・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	

使用教科書	現代高等保健体育(大修館)	副教材等	現代高等保健体育ノート 改訂版(大修館)
学習の到達目標	知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解し、それらの役割を身に付ける。	
	思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間考えたことを他者に伝える。	
	主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力					活動内容・評価規準			
			力発揮・礼儀(基礎入門)	思考・判断(学習の材料や他者)	コミュニケーション能力	情報収集力	想像力・未来を予測する力	課題を見出す力	方容観的(メタ認知)力	論理的思考力	情報分析力(批判的シンキング)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	設定力(切り抜くキヤリア)		主体的な行動力	協働力(チームワーク)	
一学期 (基礎力養成期)	4	体づくり運動	○	○	○													【知識・技能】 ・如くしての運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気づき、仲間と自主的に関わり合うことができる。 ・実生活に活かす運動の計画では、わらいにに応じて、健康の保持増進や調子のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り進んでいる。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い働きあおうとし、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。	
	5																		
	6	3 領域選択Ⅰ ・陸上競技 ・武道 ・ダンス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
7																			
二学期 (実践力養成期)	9	陸上競技 ・短距離 ・リレー 体育理論 ・スポーツの発祥と発展 (3項目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡で次の走者のスピードを十分高めることができ、長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、健康などを留意に受け止め、ルールやマナーを大切に、自己の責任を果たそうとしている。 体育理論 【知識・技能】 ・スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変化してきたことを理解している。 ・現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしているを理解している。 現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていることを理解している。 ・スポーツを行う際は、スポーツが健康や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に貢献する責任ある行動が求められることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組んでいる。
	10	陸上競技 ・長距離走 体育理論 ・スポーツの発祥と発展 (3項目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	11	球技・武道選択Ⅰ ・バドミントン ・サッカー ・武道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	12																		
三学期	1	球技・武道選択Ⅱ ・バスケットボール ・ソフトボール ・武道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・ゴール型では、安定したゴール操作や空間を作りだすなどの動きによってゴール前の侵入などから防御をすることができる。 ・ネット型では、後陣に応じたボール操作や安定した用具の操作と攻撃した動きによって空いた場所をめぐる攻撃をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 武道 【主体的に学習に取り組む態度】 ・武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとし、健康・安全を確保している。
	2																		
	3																		

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しており、それらの役割を身に付けている。	・実的な知識の習得を問う小テスト ・スキルテスト ・ゲーム結果分析
思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・グループノート ・小テスト ・ゲーム内容分析
主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養っている。	・グループノートの記入状況 ・授業態度、グループにおける話し合い ・準備、片付けへの取り組み方

使用教科書	現代高等保健体育(大修館)	副教材等	現代高等保健体育ノート 改訂版(大修館)
学習の到達目標	知識・技能 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。	思考・判断・表現 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	主体的に学習に取り組む態度 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

学期	月	単元名	基礎力			思考力				実践力				活動内容・評価規準		
			力検 抄・礼儀 →基礎人 間	と 思 考 ・ 判 断 ・ 表 現 の 学 習 方 法 の 材 料 や 根 拠	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 能 力	情 報 取 扱 力	力 検 抄 ・ 礼 儀 を 予 期 す る	理 解 を 発 見 す る 力	力 検 抄 に 対 応 す る 力	論 理 的 思 考 力	情 報 分 析 力 → 力 検 抄 シ ン ク グ ラ フ	創 造 す る 力	情 報 取 扱 力		課 題 を 解 決 す る 力	課 外 活 動 に 参 加 す る 力
一 学 期 (基礎力養成期)	4	現代社会と健康 1健康の考え方と成り立ち 2私たちの健康のすがた	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・国民の健康課題について、各層の階層や疾病構造の変化を述べて理解する。 【思考・判断・表現】 ・国民の健康課題について、健康意識の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現在の国民の健康課題を基に、自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指している。
	5	3生活習慣病の予防と回復 4がんの原因と予防 5がんの治療と回復 6運動と健康 7食事と健康 8休養・睡眠と健康	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・がん、脳血管疾患、虚血性心疾患などの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、複層的な健康意識の向上が必要であることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・生活習慣病の予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な取組を提案している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生活習慣病の予防と回復の内容を生かし、自他の明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養っている。
	7 9	9喫煙と健康 10飲酒と健康 11薬物乱用と健康	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・喫煙や飲酒は、生活習慣病などの原因となり心身の健康を損ねることを理解する。 ・薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して悪影響を及ぼすことを、決して行ってはならないことを理解する。 【思考・判断・表現】 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の両方から分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・取組について知識を生かし、自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指している。
二 学 期 (実践力養成期)	10	12精神疾患の特徴 13精神疾患の予防 14精神疾患からの回復	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物学的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が正常に行われない状態であることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を民間レベルで支えるために必要な個人や社会的な取組を提案している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・精神疾患の知識を生かし、自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指している。	
	11	15現代の感染症 16感染症の予防 17性感染症・エイズとその予防	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いがみられることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な取組を提案している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・感染症の危険性を理解し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養っている。	
	12	18健康に関する意思決定・行動選択 19健康に関する環境づくり	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・重要な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、及び人間関係などを考慮し社会環境が関係していることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・現代社会と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを達成した理由などを話し合ったり、協議を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・重要な意思決定や行動選択に必要な知識を生かし、自他の健康の保持増進を目指している。	
三 学 期 (実践力養成期)	1	安全な社会生活 1事故の現状と発生要因 2安全な社会の形成 3交通における安全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境整備が必要であることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・安全な社会づくりについて、様々な事例や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、復讐の事例に活用している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・安全な社会づくりに必要な知識を生かし、自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指している。	
	2	4応急手当の意義とその基本 5日常的な応急手当 6心臓蘇生法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・緊急医療、人工呼吸、胸骨圧迫、AEDの使用方法や手順について理解し、AEDの仕組みを用いて応急蘇生ができる。 【思考・判断・表現】 ・応急手当について、習得した知識や技能を応急対応している場合や応急に活用している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・応急手当の知識を生かし、自他の健康の保持増進を目指している。	
	3		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。	・事実的な知識の習得を問う小テスト ・單元テストの結果 ・実技練習の結果
思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養っている。	・保健ノートの記入内容 ・発表の内容 ・單元テストの内容
主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養っている。	・保健ノートの記入状況 ・発表の状況 ・グループでの話し合いへの取り組み方



使用教科書	現代高等保健体育(大修館)	副教材等		現代高等保健体育ノート(大修館)
学習の到達目標	知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。		
	思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。		
	主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活のある生活を営む態度を養う。		

学期	月	単元名	基礎力			思考力				実践力				活動内容・評価規準		
			力発揮・礼儀(重要人間)	思考・判断・表現となる学力(知識・技能)	コミュニケーション能力	力発揮・礼儀(重要人間)	力発揮・礼儀(重要人間)	力発揮・礼儀(重要人間)	力発揮・礼儀(重要人間)	力発揮・礼儀(重要人間)	力発揮・礼儀(重要人間)	力発揮・礼儀(重要人間)	力発揮・礼儀(重要人間)		力発揮・礼儀(重要人間)	
一学期 (基礎力養成期)	4	生涯を通じる健康 1 ライフステージと健康 2 思春期と健康 3 性意識と性行動の選択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・思春期における心身の発達や性的傾向に関する身体面、心理面、行動面などの知識を習得し、健康課題が生まれることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・思春期を健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的傾向に関する健康課題を解決するために、性に関する保護を適切に実施している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・思春期における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを達成した理由などを話し合ったり、動画を立てて説明している。
	5	4 妊娠・出産と健康 5 避妊法と人工妊娠中絶 6 結婚生活と健康 7 中高年期と健康 8 働くことと健康	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・結婚生活において、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解している。 ・受精、妊娠、出産とそれに関する健康課題について理解するとともに、婚姻生活における生活習慣などが変わることに理解している。 【思考・判断・表現】 ・生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に関する問題や課題を基に整理したり、個人及び社会生活を問題解決したりして、自他や社会の課題を解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に関する健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理して説明できる。
	7	9 労働災害と健康 10 健康的な職業生活	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い、発生や拡大化していることを理解している。 ・働く人の健康の保持増進は、毎日の健康経営や安全管理とともに、心身の両面における必要時、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことを理解している。 【思考・判断・表現】 ・労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の健康と社会的責任を整理している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、問題解決の方法を説明している。
	9															
二学期 (実践力養成期)	10	健康を支える環境づくり 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁、土壌汚染と健康	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・健康を支える環境づくりにおける事業や種別などについて、健康に関する問題や課題を基に整理したり、個人及び社会生活を問題解決したりして、自他や社会の課題を解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・健康の新事や改善を防止するためには、汚染物質の削減をできる限り削減したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることが必要と理解できる。
	11	3 環境と健康にかかわる対策 4 ごみの処理と上下水道の整備 5 食品の安全性	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・環境基本法などの法律等が制定されており、環境基準の設定、排出物の規制、環境測定の標準などの総合的、計画的な管理が図られていることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、管理を講じて改善し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方向性を整理している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・上水道汚濁、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校、地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るためにに行われることについて説明し、実践に努めている。
	12															
三学期	1	6 食品衛生にかかわる活動 7 保健サービスとその活用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・人々の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が確保されると、健康に被害を被ることも減ることがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・食品の安全性と食品衛生にかかわる活動について、習得した知識を基に、食品の安全性を確保するための対策を整理している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・食品の安全性と食品衛生にかかわる活動について、習得した知識を基に、食品の安全性を確保するための対策を整理している。
	2	8 医療サービスとその活用 9 医薬品の制度とその活用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・自他や社会の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の提供、医薬品の提供を受けた保健・医療サービスなどが提供されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、厳密に規制が行われていることと理解している。 ・医薬品の制度と関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理している。
	3	10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対して多岐の保健活動や社会的対策が行われていることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・ヘルスプロモーションの考え方に基いた、健康に関する環境づくりへ積極的に参加して行くために、適切な情報を提供・収集している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・健康を支える環境づくりについて、自他や社会の健康の保持増進と、それを達成した理由などを話し合ったり、動画を立てて説明したりしている。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。	・事後的な知識の習得を問う小テスト ・單元テストの結果 ・実践講習の結果
思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養っている。	・保健ノートの記入内容 ・発表の内容 ・單元テストの内容
主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活のある生活を営む態度を養っている。	・保健ノートの記入状況 ・発表の状況 ・グループでの話し合いへの取り組み方

使用教科書	現代高等保健体育(大修館)	副教材等	現代高等保健体育ノート(大修館)・アクティブスポーツ(大修館)
学習の到達目標	知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を身に着けることができるようになるための、運動の多様性や体力の必要性について理解し、それらの技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間考えたことを他者に伝える。	
	主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の思いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。	

学年	月	単元名	基礎力			思考力				実践力				活動内容・評価規準			
			力挨拶・礼儀(客商入間)	と思考・実力(材料や機材)	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を予測する	課題を見出す力	力客観的に認知する	論理的思考力	シグナル分析力(批判的シンキング)	創造する力	情報発信力		課題を解決する力	設定を切り拓くキャリア	主体的な行動力
三年(基礎力養成期)	4	体づくり運動	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・体づくしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に依存し、仲間と自主的に関わり合うことができる。 ・実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとし、一人一人の思いに応じた動きなどを大切にしようとしている。
	5																
	6	2領域選択Ⅰ ・ダンス ・バレーボール ・サッカー	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ダンス 【知識・技能】 ・感じを込めて踊ったり、ダンスの名称や用語を理解し、イメージを深めた表現や踊りを生かした交流や発表ができる。 【知識・技能】 ・ボール型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから後防をすることができる。 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と選択した動きによって思い通りの場所をめぐる攻めをすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・競技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイをしようとしており、作戦を立てることなどを大切にしている。
三年(実践力養成期)	7	陸上競技 ・短距離 ・リレー 体育理論 ・豊かなスポーツライフの設計(2項目)	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	陸上競技 【知識・技能】 ・短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることをトーンの加速で決走時のスピードを十分高めることができ、反動走では、自己に選んだペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切に、自己の責任を果たそうとしている。	
	9		陸上競技 ・長距離走 体育理論 ・豊かなスポーツライフの設計(2項目)	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		
	10	陸上競技 ・長距離走 体育理論 ・豊かなスポーツライフの設計(2項目)	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	体育理論 ・スポーツは、全ライフステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じた多様な楽しみ方ができることを理解している。 ・スポーツの推進は、様々な産業や組織、人々の支援や奉仕によって支えられていることを理解している。 ・人生に思いをもちたす普遍的な文化的資源として、スポーツを未来に継承するためには、スポーツの可能性と課題を踏まえて適切な「する、みる、支える、知る」などの関わりが求められることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組んでいる。	
	11	2領域選択Ⅱ ・ダンス ・バスケットボール ・卓球	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		
三学期	1	2領域選択Ⅲ ・ダンス ・バドミントン ・ソフトボール	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	評価 【知識・技能】 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と選択した動きによって思い通りの場所をめぐる攻めをすることができる。 ・バドミントン型では、状況に応じたネット操作と意思での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻めをすることができる。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・競技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイをしようとしており、作戦を立てることなどを大切にしている。	
	2		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○			
	3		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○			

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しており、それらの技能を身に付けている。	・事実に基づいた習得を問う小テスト ・スキルテスト ・ゲーム結果分析
思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・グループノート ・小テスト ・ゲーム内容分析
主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の思いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養っている。	・グループノートの記入状況 ・授業態度、グループにおける話し合い ・準備、片付けへの取り組み方

使用教科書	MOUSA1 (教育芸術社)	副教材等	Music Note (啓隆社), 高校生の歌集 つどい(啓隆社)
学習の到達目標	知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	自己のイメージをもって音楽表現を工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。	
	主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力				実践力				活動内容・評価規準				
			方検等・礼儀(基礎人間性)	思考・実力(知識・技能)	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を予測する	課題を克服する力	音楽的・美的・芸術的・科学的な見方	論理的思考力	シナジー効果を生み出す力	創造する力	情報活用能力		課題を解決する力	発表力	主体的な行動力	協働的力(ムロワ)
一年(基礎力養成期)	4・5・6・7	【歌唱】 ・発声の基本を身に付けよう ・曲想を感じて歌おう	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・姿勢や呼吸法、発声法について理解する。 【思考・判断・表現】 ・校歌の歌詞の内容を理解し、旋律を覚える。 ・「褒めてください」「負けないで」「花」を学習し、曲にあそびたい表現を考え歌唱する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・姿勢に気をつけ積極的な態度で歌唱する。
		【器楽】 ・ギターの弾き語り挑戦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・フォークギターの基本的な奏法を身に付ける。 ・コードを覚える。 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・覚えたコードを使い、簡単な楽曲の弾き語りができる。
		【鑑賞】 ・音楽の要素とイメージをつなげよう ・音楽史(古代ギリシャ～バロック)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・古代ギリシアからバロック時代までの音楽について、時代ごとの特徴や作品等について理解する。 【思考・判断・表現】 ・基礎活動の仕方について学習する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・サン＝サーンスの「動物の楽肉類」について理解する。 ・古代ギリシアからバロック時代までの音楽について、時代ごとの特徴や作品等について理解する。
		【理論・ソルフェージュ】 ・音程や休符について ・リズムについて ・ポディーパーカッションを楽しむ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・音程や休符の種類について理解する。 ・リズムについて理解する。 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ポディーパーカッションに取り組む、様々なリズムを演奏できる。
一年(基礎力養成期)	9・10・11・12	【歌唱】 ・外国語の歌曲に挑戦 ・日本語に親しもう	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「オーソレミオ」を学習し、歌唱できる。 ・グールドとシュールベットの「野ばら」について学習し、歌唱できる。 ・「小さな空」等の歌曲について学習し、歌唱できる。	
		【器楽】 ・響け!バイオリン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・バイオリンの基本的な奏法を身に付ける。 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・簡単な楽曲を演奏することができる。	
		【鑑賞】 ・ピアノによるさまざまな表現効果を感じ取ろう ・音楽史(古典～ロマン)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な時代や作曲家のピアノ作品について理解する。 ・古典派からロマン派までの音楽について、時代ごとの特徴や作品等について理解する。
		【理論・ソルフェージュ】 ・音程について ・和音について ・視唱 ・聴音	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・音程について基本的な考え方を理解する。 ・和音やコードネームの仕組みや種類について理解する。 ・コールユーブンゲンを視唱できる。 ・簡単なリズム聴音や旋律聴音ができる。
一年(基礎力養成期)	1・2・3	【器楽】 ・新楽器に挑戦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・篠笛の仕組みや奏法等について理解する。 ・音を出すことができる。 ・簡単な曲を演奏することができる。	
		【鑑賞】 ・さまざまな主題とその構成を聴き取ろう ・音楽史(現代)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ベートーヴェンの交響曲第9番について理解する。 ・現代の音楽について、時代ごとの特徴や作品等について理解する。	
		【理論・ソルフェージュ】 ・視唱 ・聴音	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・コールユーブンゲンを視唱できる。 ・簡単なリズム聴音や旋律聴音ができる。	

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付けている。	・観察法(出席、態度) ・ワークシート ・Music Note ・実技テスト ・単元別小テスト
思考・判断・表現	それぞれのイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。	
主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に幅広い活動に取り組み、音楽に親しみながら生活や社会を明るく豊かなものにしていくとしている。	

使用教科書	高校生の美術1（日本文教出版）	副教材等	
学習の到達目標	知識・技能	対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。	
	思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりする。	
	主体的に学習に取り組む態度	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身に付ける。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力				実践力				活動内容・評価規準		
			力強い・礼儀・基礎的人間性	思考的な・深い理解力	コミュニケーション力	想像力・未来を予測する力	問題を見極める力	客観的に物事を捉える力	創造的思考力	創造力	課題を解決する力	表現力	主体的な行動力		協働力	
一学期	4	【鑑賞】 オリエンテーション 「美術とは何か」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	小中学校での活動を振り返りながら、教科書や資料を活用して美術を学ぶ意義を考える。 【知識・技能】 美術表現の多様性や社会の中での役割について理解することができる。 【思考・判断・表現】 美術と社会や日常生活との関わりについて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 これまでの活動を振り返り、今後の学習の目標を明確にしようとする。
	5	【表現・鑑賞/絵画】 鉛筆デッサン 「形、空気、光を描く」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	幾何形体や自分の手をモチーフに、対象の構造や立体感、光線と陰影、空間との関係に着目しながらデッサンする。 【知識・技能】 対象を観察する際のポイントや鉛筆の使い方を理解することができる。 【思考・判断・表現】 対象の特徴を捉え、用具の使い方を工夫しながら表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な視点から観察するなど、対象の特徴について理解しようとする。
	6 7	【表現・鑑賞/デザイン】 パッケージのデザイン 「ペットボトル飲料のラベルデザイン」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	様々な商品パッケージやラベルの特徴、意義について学び、オリジナルの飲料を想定してペットボトルラベルのデザインを行う。 【知識・技能】 パッケージやラベルの意義、造形的な工夫や魅力について理解することができる。 【思考・判断・表現】 原料や商品名などオリジナルの飲み物を想定し、特徴やイメージ、アピールポイントなどを踏まえた上で造形的な工夫をし、ラベルのフォーマットでデザインすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に情報を集め、アイデアスケッチを重ねてデザインをブラッシュアップすることができる。
二学期	9	【表現・鑑賞/絵画】 アクリル絵具による空想画 「超現実への扉」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	シュルレアリスムについて学習し、空想することや偶然の効果を活かして非現実的な世界を表現した絵画制作を行う。 【知識・技能】 シュルレアリスムの歴史や特徴、多様な技法について理解することができる。 【思考・判断・表現】 空想を膨らませたり偶然の要素を取り入れながら作品の構想を練り、イメージに合った表現をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に様々な資料を収集し、アイデアスケッチや諸技法を多く試行しながら作品制作を行うとする。
	10 11 12	【表現・鑑賞/映像メディア表現】 写真表現 「私の日常」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	構図や視点、光線など写真表現の基礎的な事柄、デジタルカメラの構造などについて学び、自分の日常を象徴するような写真作品を作る。 【知識・技能】 写真表現における撮影時のポイントについて理解することができる。 【思考・判断・表現】 自分の日常を象徴するようなモチーフや場面設定を行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く撮影や試作を重ね、適切な構図や視点を探ろうとする。
	1 2	【表現・鑑賞/彫刻】 身近な素材による立体作品 （モビール） 「動く彫刻」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	身近な素材を組み合わせて、テーマ性を持ったモビールを作成する。 【知識・技能】 立体表現としてのモビールのよさや特徴について理解することができる。 【思考・判断・表現】 素材の特徴を活かしてイメージに沿ったデザインや造形を行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 テーマに合った素材について探求しようとする。
三学期	3	【鑑賞】 「陰影礼賛～日本人の美意識を探る」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	谷崎潤一郎著「陰影礼賛」を軸に、日本美術の特徴や歴史、西洋美術との共通点や違いについて学ぶ。 【知識・技能】 日本美術のよさや特徴について理解することができる。 【思考・判断・表現】 西洋美術との違いについて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に情報収集し、理解を深めようとする。	

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表現することができる。	・授業態度 ・ワークシート ・作品 ・小テスト
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	・授業態度 ・ワークシート ・作品
主体的に学習に取り組む態度	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身に付けている。	・授業態度 ・ワークシート ・作品

使用教科書	書 I (東京書籍)	副教材等	
学習の到達目標	知識・技能	書表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	書の上さや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉える。	
	主体的に学習に取り組む態度	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を身に付ける。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力				実践力				活動内容・評価規準	
			力強い筆遣い・筆勢	筆勢・筆調	筆調・筆致	筆致・筆意	筆意・筆趣	筆趣・筆情	筆情・筆致	筆致・筆意	筆意・筆趣	筆趣・筆情	筆情・筆致		筆致・筆意
1年 1学期	4	【書へのいざない】 【茶刻の学習】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。 【思考・判断・表現】 ・用具・用材を生かして作品を構想し工夫している。 ・作品の価値やその根拠について考え、書の上さや美しさを感じている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	5 6 7	【漢字の書】 楷書 【楷書の基礎】 【楷書の発展】 【楷書のまとめと制作】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との間わりについて理解している。 ・書体や書風と用筆、運筆との間わりについて理解している。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 ・古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付けている。 ・漢字の書体の変遷について理解している。 【思考・判断・表現】 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ・意図に基づいた表現について構想し工夫している。 ・創造された作品の価値とその根拠、生活における書の効用について考え、書の上さや美しさを感じて捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に漢字の書の幅広い表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
1年 2学期	9 10	行書 【行書の基礎】 【行書の発展】 【行書のまとめと制作】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との間わりについて理解している。 ・線質や書風と用筆、運筆との間わりについて理解している。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 ・連筆と単筆、線質や字形を生かした表現の技能を身に付けている。 ・仮名の成立等について理解している。 【思考・判断・表現】 ・古典に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ・意図に基づいた表現について構想し工夫している。 ・創造された作品の価値とその根拠、生活における書の効用について考え、書の上さや美しさを感じて捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に仮名の書の幅広い表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	11 12	【生活の中の書】 実用書・年賀状  【仮名の書】 基本的用筆・平仮名・連筆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との間わりについて理解している。 ・線質や書風と用筆、運筆との間わりについて理解している。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 ・連筆と単筆、線質や字形を生かした表現の技能を身に付けている。 ・仮名の成立等について理解している。 【思考・判断・表現】 ・古典に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ・意図に基づいた表現について構想し工夫している。 ・創造された作品の価値とその根拠、生活における書の効用について考え、書の上さや美しさを感じて捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に仮名の書の幅広い表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
1年 3学期	1	【漢字仮名交じりの書】 漢字と仮名の調和 紙面構成 作品制作	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との間わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との間わりについて理解している。 ・線質・字形、構成等の要素と表現効果や意趣との間わりについて理解している。 ・目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について工夫している。 ・創造された作品の価値とその根拠、生活における書の効用について考え、書の上さや美しさを感じて捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自身の表現の意図に基づき表現、漢字仮名交じりの書の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 ・書の上さや美しさを感じ、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。
	2 3	【漢字仮名交じりの書】 漢字と仮名の調和 紙面構成 作品制作	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との間わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との間わりについて理解している。 ・線質・字形、構成等の要素と表現効果や意趣との間わりについて理解している。 ・目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について工夫している。 ・創造された作品の価値とその根拠、生活における書の効用について考え、書の上さや美しさを感じて捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自身の表現の意図に基づき表現、漢字仮名交じりの書の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 ・書の上さや美しさを感じ、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	・書表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	・意見交換や観念の確認 (活動の様子・ワークシート) ・作品制作・作品制作後の振り返り (作品・ワークシート)
思考・判断・表現	・書の上さや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えることができる。	・表現の意図の創出、言葉の選定、構想・工夫の構築等 (ワークシート) ・意図に基づいた作品制作・制作過程の記録 (作品・ワークシート) ・相互鑑賞や意見交換を通しての自己評価と構想・工夫の見直し (活動の様子・ワークシート)
主体的に学習に取り組む態度	・主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を身に付けようとしている。	・表現の意図、構想、表現の工夫の取り組みの記録 (ワークシート) ・表現を工夫して表す活動への取り組み (作品・ワークシート) ・鑑賞及びそれを通して考えたことや生かそうとする取り組み (活動の様子・ワークシート)



使用教科書	MY WAY English Communication II (三省堂)	副教材等	英字基本文例600 (啓隆社) 他
学習の到達目標	知識・技能	英語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付け、目的や場面、状況などに応じてそれらを適切に活用できる。	
	思考・判断・表現	日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えなどの概要や話し手や書き手の意図を理解し、それらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	
	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的・自律的にコミュニケーションを図ることができる。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力					活動内容・評価規準		
			力関係・礼儀・基礎知識	思考・判断・表現力	コミュニケーション能力	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
一学期	4 5	Lesson 1 Dances Around the World	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】SVO, SVOO等を用いた文構造について理解している。 【思考・判断・表現】レポートの概要や要点、必要な情報を、聞き取って捉えている。世界各地のダンスについて、概要や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】レポートの概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら主体的に読み取り捉えようとしている。
	6 7	Lesson 2 Katsura Sunshine— Making the World Laugh	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】形式主語・形式目的語のitを用いた文構造を理解している。 【思考・判断・表現】インタビューのスク립トを読んで、文章の脈理や書き手の意図を把握し、概要や要点、詳細を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】レポートで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、主体的に情報や考えを発表して伝えようとしている。
二学期 (応用力養成期)	9 10	Lesson 3 Living with Nature— Takita Asuka's Journey	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】現在完了形、現在完了進行形、過去完了形、過去完了進行形の用法を理解している。 【思考・判断・表現】野生動物の保護活動について理解を深め、基本的な語句で考えを伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、主体的に情報や考えを発表して伝えようとしている。
	11 12	Lesson 4 Sesame Street	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】知覚動詞、使役動詞を含むSVOCの文や、help+動詞の原形の文構造について理解している。題材に込められたメッセージを読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】セサミストリートを見たことがない子どもに、読んで得られた情報を活用し、多様な語句や文を用いて、考えを伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】基本的な語句や文を用いて、主体的に考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えようとしている。
三学期	1 2	Lesson 5 From Landmines to Herbs	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】関係代名詞、関係副詞を用いた文構造を理解し、国際ボランティア活動について内容や効果などを話して伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】国際ボランティア活動について、多様な語句や文を用いて話している。 【主体的に学習に取り組む態度】グループで話し合った内容を基に、多様な語句や文を用いて、主体的に情報や考えを発表して伝えようとしている。
	3	Lesson 6 Murals—The Power of Public Art	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】助動詞(過去形)、助動詞+have+過去分詞、完了不定詞を理解し、対話を聞き取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】壁画プロジェクトについて、グループで話し合った内容を基に、多様な語句や文を用いて、情報や考えを発表して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】世界中の壁画プロジェクトについて、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら主体的に捉えようとしている。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	<p>&lt;各学期の評価方法&gt;</p> <p>①各課の単元テストの成績</p> <p>②授業への取り組みの様子</p> <p>③課題やレポートみたいする取り組みの状況</p> <p>④授業時間内に行うパフォーマンステストの成績</p> <p>&lt;学年の評価方法&gt;</p> <p>知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3つの観点から総合的に判断して、年間の評価とする。</p>
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	





使用教科書	家庭総合 持続可能な未来をつくる (第一学習社)	副教材等	家庭総合学習ノート (第一学習社) 生活学Navi (実教出版)
学習の到達目標	知識・技能 人の一生と家族・家族及び福祉、衣食住、消費生活・娯楽などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	思考・判断・表現 家庭や地域及び社会における生活の中から課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	主体的に学習に取り組む態度 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に資するようとする実践的な態度を養う。

学年	学期	月	単元名	基礎力			思考力				実践力				活動内容・評価規準	
				「批判的・創造的・協働的」な思考力・学力の育成	「主体的・協働的」な思考力・学力の育成	「協働的・創造的」な思考力・学力の育成	「批判的・創造的」な思考力・学力の育成	「主体的・協働的」な思考力・学力の育成	「協働的・創造的」な思考力・学力の育成	「批判的・創造的」な思考力・学力の育成	「主体的・協働的」な思考力・学力の育成	「協働的・創造的」な思考力・学力の育成	「批判的・創造的」な思考力・学力の育成			
二年 (基礎力養成期)	一学期	4	5 食 食生活をつくる 1 節 人の「食と食事」 ① 私たちと食事 ② 健康に配慮した食生活 ③ 食生活の変化 ④ 持続可能な食生活 ⑤ 食生活の文化													【知識・技能】 青年期における毎日の食事の重要性、食事を共にすることの意義、食品に含まれる栄養素について理解している。 【思考・判断・表現】 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について課題を見いだして課題を設定している。
		6	2 節 栄養と食品 ① 人体と栄養 ② 食品の安全と衛生 ③ 糖質 ④ たんぱく質 ④ 無塩質 ⑤ ビタミン ⑥ 良好食品と健康増進のための食品													【知識・技能】 食卓の調理上の性質を理解しているとともに、目的に応じた調理ができる。 【思考・判断・表現】 食の安全や食品の調理上の性質を考慮した献立作成や調理計画について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。
		7	3 節 食生活の安全のために ① 食品の選択と保存 ② 食品の安全と衛生 4 節 食生活をデザインする ① 栄養バランスのよい食事 ② 食品群と摂取量の目安 ③ ライフステージと食事													【主体的に学習に取り組む態度】 食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 【思考・判断・表現】 健康や環境に配慮した食生活について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。
三年 (実践力養成期)	二学期	9	2 章 次世代をはぐくむ 1 節 子どもの発達 ① 次世代をはぐくむ ② 命のはじまり ③ 乳幼児の体の発達 ④ 乳幼児の心の発達 2 節 子どもの生活 ① 親と子のかかわり ② 乳幼児の生活と安全 ③ 子どもの成長と遊び													【知識・技能】 子どもを取り巻く社会環境、乳幼児期の心身の発達と生活について理解している。 【思考・判断・表現】 子どもを育てることの意義、子どもの健やかな発達のために親や家族及び地域社会の果たす役割について課題を見いだして課題を設定している。
		10	3 章 充実した生涯へ ① 高齢社会を生かす ② 人生のなかで高齢期をとらえる ③ 高齢者の生活 ④ 高齢社会を支える ⑤ 充実した高齢期へ													【知識・技能】 親の役割と保育、子どもを取り巻く社会環境、子育て支援について理解している。 【思考・判断・表現】 子どもの健やかな発達のために地域社会の果たす重要性について解決策を構想し、考察したことを論理的に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に乳幼児と適切にかかわり、子どもの生活と保育について、生活を工夫し創造している。
		11 12	3 節 子育てと支援と福祉 ① 地域社会と子育て支援 ② 子育てと子どもの権利 4 章 ともに生きる ① 社会保険制度と社会的連帯 ② 人の多様性と社会参加 7 章 住生活をつくる 1 節 人の一生と住まい ① 私たちと住まい													【知識・技能】 高齢者の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の自立生活支援や介護について理解している。 【思考・判断・表現】 高齢者の自立生活支援のために、家族・地域社会及び社会の果たす役割について解決策を構想し、考察したことを論理的に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の構築に向けて、高齢者の生活と福祉について、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
三年 (思考力養成期)	三学期	1	② 平庭の活用 ③ 住まいのインテリア ④ 長く住み続けるために ⑤ 生涯を見通した住まいの工夫 2 節 住生活の計画と選択 ① 快適で健康な住まい ② 安全で安心な住まい ③ 持続可能な住まい ④ 住まいと地域社会												【知識・技能】 防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解している。 【思考・判断・表現】 住居の機能性や快適性、防災などの安全や環境に配慮した住居や住環境について課題を見いだして課題を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の構築に向けて、住生活と健康について、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な食生活、住生活に係る知識を身に付けている。また、乳幼児の発達の特徴、高齢者の特性について理解している。	単元ごと的小テスト、定期テスト
思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から課題を設定し、解決策の構想及び実践したことについて論理的に表現できる。	単元ごと的小テスト、定期テスト、ワークシート、グループワーク
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の構築に向けて、主体的に見いだした課題に取り組み、地域社会へ貢献しようという態度が育まれている。	レポート課題、グループワークでの発表態度